

## 「研究対象者への通知又は情報公開文書」

東京理科大学では、以下の研究を行います。本研究の対象者に該当する可能性のある方で研究への参加を希望されない場合、又は研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究の名称 非日常的場面における衝動購買の検討：旅行先の「せっかくだから」購買を題材に
2. 研究の実施体制
  - (1) 研究責任者：（所属）東京理科大学（職名）教授（氏名）井出野尚（担当業務）研究デザイン立案、データ収集、データ解析、論文作成
  - (2) 共同研究機関：  
(機関名)静岡県立大学  
(所属) 経営情報学部経営情報学科  
(職名) 准教授  
(氏名) 玉利祐樹  
(担当業務)データ解析、論文作成  
  
(機関名)早稲田大学  
(所属) 文学学術院  
(職名) 教授  
(氏名) 竹村和久  
(担当業務) データ解析、論文作成  
  
(機関名)北海学園大学  
(所属) 経営学部  
(職名) 准教授  
(氏名) 村上始  
(担当業務) データ解析、論文作成
3. 研究期間  
東京理科大学学長許可日 ～ 2028年 3月 31日
4. 研究の対象者  
web調査会社であるアイブリッジ株式会社に登録されているモニター、20代から60代の成人1000人を対象とします。)
5. 研究の目的及び意義  
本研究は、消費者の意思決定メカニズムを多角的に解明するとともに「せっかくだから」的思考傾向が、衝動購買や後悔感にどのように影響を与えるのかを明らかにすることを目的とします。  
これにより、マーケティングや観光行動研究における、非日常環境が購買行動に及ぼす影響に関

する新たな知見の提供が期待されます。

## 6. 研究の方法

### (1) 研究の手順

本研究では、「せっかくだから」という思考が衝動購買や後悔にどう影響するかを明らかにするため、web調査によって「せっかくだから」傾向や衝動性・後悔との関係を定量的に検証する。「せっかくだから」→衝動購買→後悔の心理的メカニズムを理論モデルとして構築する。

### (2) 協力していただく内容

#### web調査

対象：20代から60代の成人1000人を対象とします。

内容：衝動性・後悔傾向・感情などに関する設問に回答

時間：15～20分程度

### (3) 提供いただく試料・情報・個人情報等について

#### ① 提供いただく試料・情報・個人情報等の内容

質問に回答していただいた内容を取得させていただきます。ご回答は自由回答形式と選択形式になっております。なお、氏名、住所などの個人情報は一切ご回答いたしません。

#### ② 利用目的、利用方法、及び利用する者の範囲

皆様のご回答を統計的に解析し、学会発表、論文作成に使用させていただきます。

#### ③ 試料・情報・個人情報等の加工について

ご提供いただいた情報には個人を特定される情報は含まれておりません。独自の番号（コード番号）を付けた状態で管理します。

#### ④ 試料・情報・個人情報等の保管期間・保管方法

この研究の終了後、ご回答いただいた内容は、皆様からの問い合わせ等があるときのために、匿名化され個人が特定されない状態で管理したうえで、5年間保存します。

#### ⑤ 情報・個人情報等の廃棄方法

情報等の保管期間終了後、紙媒体の資料はシュレッダー処理し、電子データは保管したハードディスクを削除し、廃棄します。

## 7. 研究の資金源や利益相反に関する状況

### (1) 研究資金

この研究の費用は、科学研究費や学内研究費の助成を受けております。

### (2) 利益相反について

この研究には、企業や団体は関与しません。企業等との利害関係はないため、利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じません。

## 8. お問い合わせ先

研究責任者：東京理科大経営学部 教授 井出野尚

連絡担当者：東京理科大経営学部 教授 井出野尚

連絡先 : ideno@rs.tus.ac.jp

受付時間 : 随時受け付けます

受付時間 :